

教育委員会だより

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手となるよう、教育委員会や各学校では、さまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

祝上内小学校創立150周年

上内小学校は、明治8年に「上内道（かみうち）小学校」として開校しました。幾多の変遷を経て、明治25年には「上内尋常小学校」および「四箇尋常小学校」と改称されました。その後、学校の統廃合や分教場の設置など、地域の教育環境の変化に柔軟に対応しながら、昭和22年に「大牟田市立上内小学校」となりました。学校愛と郷土愛にあふれる地域の皆さんの協力を受けてながら、さまざまな教育活動を進めています。児童は豊かな自然に囲まれ、米作りを通じて秋の実りに感謝しながら、「銭太鼓踊りと瓢箪廻し」を継承するとともに、地域の魅力発信や交流活動を行い、収穫した米の販売や学

習成果の発表など、実践的な学びを深めています。また、子ども相撲大会や上内ふれあい運動会は、地域とのつながりを生かした特色ある教育活動です。

11月15日、創立150周年記念式典が開催されました。記念講演では、同校出身で、現在は八代市文化振興課の職員、西山由美子さんが「私のふるさと 上内校区の歴史について」と題し、校区に残る史跡を中心に分かりやすく紹介してくださいました。

最後に、5年生による「上内っ子米」の販売があり、子どもたちの元気な呼びかけに、新米を買い求める人で行列ができました。



第49代 高倉洋美校長 挨拶



西山由美子さんの講話



5年生による「上内っ子米」の販売

祝玉川小学校創立140周年

玉川小学校は、明治19年に櫛野と教楽来に設置された小学校簡易科が、明治25年に合併し「玉川尋常小学校」として開校しました。

その後、幾多の変遷を経て、昭和22年に「大牟田市立玉川小学校」となりました。地域の皆さんのご協力をいただきながら「米はかり踊り」の継承をはじめ、校区の豊かな自然や史跡を生かした特色ある教育活動を展開しています。

12月6日、創立140周年記念式典が開催されました。式典では、代表児童が「玉川小学校の伝統である・たまがわ あいさつ・仲の良い縦割り活動・地域の方々への感謝の心をこれからも引き継いでいきたいです」と決意を新たにしました。続いて、藤木校長の指揮のもと、全員の心を一つにした歌声が体育館に美しく響き渡りました。

記念式典後には学習発表会が行われました。1・2年生は生活科の学習で学んだ「いきものとなかよし」、3・4年生は総合的な学習の時間に学んだ「玉川の野草」と「鳴川の生き物」について発表し、玉川の自然をこれからも大切にしていきたいと呼びかけました。また、5年生は国語科の学習から発展させた「もっと知りたい大牟田弁」、6年生は外国語科の学習で学んだことを生かし、修学旅行の思い出を一人ひとり英語でスピーチしました。



全校合唱『未知という名の船に乗り』



第35代 藤木春美校長 挨拶



学習発表会 6年生のスピーチ

令和7年度 学校教育功労者表彰

本市の学校教育の振興に特に功績があった18の個人・団体を教育委員会から表彰しました。

本市の教育活動への支援、ありがとうございます。

【登下校時の見守り】

- 柴田 好明さん (天領小学校区)
- 古賀 絹江さん (天領小学校区)
- 中島 久美子さん (天の原小学校区)
- 西山 恵土さん (天の原小学校区)
- 田口 行利さん (倉永小学校区)

【読書ボランティア】

- 読み聞かせの会ポケット (明治小学校)
- 森 竜子さん (中友小学校)
- 水田 瑞恵さん (羽山台小学校)
- 原田 文絵さん (羽山台小学校)
- 高宗 春恵さん (羽山台小学校)
- 高田 理絵さん (羽山台小学校)
- 松崎 郁子さん (羽山台小学校)
- 中村 英樹さん (羽山台小学校)

【ミシンボランティア】

- 布れ愛工房 (吉野小学校)
- 今古賀 陽子さん (市内小学校)

【学校評議員】

- 古賀 登志子さん (平原小学校)

【学校歯科医】

- 高村 聖一さん (三池小学校)
 - 中島 宗隆さん (羽山台小学校)
- (順不同)



吉野小学校
ミシンボランティアの皆さん



羽山台小学校
読書ボランティアの皆さん



第16回 大牟田地域教育力向上推進大会 ～学校・家庭・地域のさらなるつながりを～

1月24日「大牟田地域教育力向上推進大会」を開催しました。第1部では「ありがとうの感謝のこぼれ」の発表や「児童会・生徒会リーダーミーティング」の取組紹介を、第2部では「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた」宣言と、各学校のSDGs/ESDの取組発表を行いました。



上内小学校児童会・御木中学校生徒会報告



OMUTA ジュニアシティメーカーの発表

毎年4校がESD(持続可能な開発のための教育)で学んだことを、楽しく分かりやすく工夫を凝らして報告しています。加えて、今年度はOMUTAジュニアシティメーカーのメンバーが旧橋中学校で取り組んだ「新しい学び・気づき」の場をつくる地域プロジェクトや地域体験活動について報告しました。

この大会も恒例となり、毎年多くの皆さんに参加いただいています。来場者からは「学校ごとに特色があり、子どもたちが自分たちにできることを考え、地域や関係者の協力を得ながら社会貢献していることが分かりました」「孫が発表するので久しぶりに文化会館まで来ました。こうして子どもたちから刺激を受けるのもいいですね」といった声も寄せられました。「ESDのまちおおむた」にふさわしい大会になりました。

- 市民憲章唱和
- ありがとうの感謝のこぼれ発表
天の原小学校・三池小学校・宅峰中学校・三池高等学校の児童生徒
- 児童会・生徒会リーダーミーティング報告
上内小学校・御木中学校の児童生徒
- 「ユネスコスクール・ESDのまちおおむた」宣言
- SDGs/ESDの取組発表
みなと小6年生「いつか来るその日のために～考えよう、自助・共助～」
大正小5年生「豊かな『ありがとう』の心を学校から世界へ」
吉野小5年生「守ろうわたしたちのまち」
白光中2年生「過去を見つめ、未来を拓く～誰もが輝ける持続可能な社会を目指して～」
旧橋中卒業生(現在、県内の高校生)
「OMUTAジュニアシティメーカーの挑戦！」

■問合せ

教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室

(☎ 412867)

詳しくはこちら

